

[石巻市]G-Bio[®]発電所位置



G-Bio石巻102発電所

発電出力 102MW

住所: 宮城県石巻市須江字瓦山

面積: 約 113995m²

現状: 山林など

154kV鉄塔まで 200m



1、事業の概要

- 事業名 G-Bio(ジー・バイオ)石巻須江発電事業○所在地—石巻市須江字瓦山地内
- 面積 約8万㎡(発電事業面積4万6千㎡)
- 手続き段階 第一段階の方法書終了(R1・6・12知事意見書提出)し、第二段階の途中
- 規模 10万2750kw(発電出力)○燃料—Fvel.P.(ドットP)・パーム油
- 運転開始 2024年予定(2021年着工)

2、若干の経過

2018年3月 G-Bio発電所計画が公表、東松島コミセン・石巻遊学館で説明会

◎住民代表で「発電所をつくる会」結成

2019年3月19日県環境影響評価技術審査会(環境アセス、13人で構成)

2019年3月25日石巻市、東松島市から意見照会回答

4月22日答申審査①6月3日—答申審査②7月12日—知事の意見提出

2019年4月しらさぎ台町内会の総会で反対の決議

7月17日 しらさぎ台町内会(稲葉・大森代表)として亀山石巻市長に

7項目の申し入れ

2019年12月 しらさぎ台コミュニティーセンターで G-Bio説明会

住民約60人 住民から疑問や反対の意見が多くいただきましたが、G-Bio側から納得出来る答弁が無かった。

※すでに森林は地権者から買収済み(約40人位)

3、現状認識の問題点

- ① 閑静な住宅地、保育所や小学校や中学校、そして浄水場やしらさぎ台団地を形成するところになぜ、今、巨大なバイオ火力発電所が必要なのか。
- ② G-Bio は地域経済や雇用、火力、原発に代わる環境に負荷をかけないエネルギーを再生し、地域貢献したいと語るが、ハッキリ言って「百害あって一利なし」、もし建設されれば住環境を壊し、子々孫々まで悔いを残す発電事業と言える。
- ③ 県の技術審査会でも非常に厳しい意見、注文がだされ、「その環境基準がクリアできなければ事業実施区域の見直し」つまり計画撤回も指摘されている。
特に「煙突がどこか、もし一番高いところに行けば、環境基準すれすれになる」
「交通量が増えたらどうなるか、少しリスクな場所だろうと思った。

知事の意見→窒素酸化物(No_x)排出濃度が著しく高く、排水量が多く周辺地域の環境悪化が懸念、須江がなぜ設置場所なのか納得がえられる説明がない。

- ④ 燃料となる GBio・ドット P はマメ科の植物で、モザンピークで、実になるまで3年～5年かかるのでまだ出来ていない、委員から「燃やすとどういう臭いが出るのか試しているか」と聞かれ、業者側は当社としては試していないなどと、きわめてあいまい、結局パーム油を使用することになる。
- ⑤ 特に問題にされたのが大型コンテナトレーラー(1日40台)の輸送ルート 当初は通学路や住民の安全を考え、農道に新たに道路をつくる計画などの案出が私だが、その矛盾点を技術審査会から指摘され、すべて撤回し、現道をゆっくり通行するなど子どもだましの回答に終始、委員の不信を買う。

■ 石巻市長への申入書に対する回答

Confidential information



No.	質問要旨	回答
1	地域住民への説明会は、実際にどこの地域で行われたのでしょうか。	◆第1回住民説明会(2018.3.28@定住センター) 対象: 沢田、館、細田行政区、住民32名参加 ◆環境影響評価条例に基づく方法書の住民説明会 宮城県広報および地元新聞(河北新報)に開催案内を掲載し、下記日時に実施。 対象: 東松島市(2019.1.22@コミュニティセンター) 石巻市(2019.1.23@遊楽館)
2	住宅密集地・保育所・学校が近い地域での発電事業は聞いたことがないのですが、大丈夫なのでしょうか。	環境アセスメントを通じて、<u>付近の小学校や保育所および住宅等の生活環境への影響を見極め、必要な対策を講じることで、環境負荷を最小限にいたしますので、</u>どうぞご安心ください。 尚、本発電所と類似のバイオマス発電所の例では、民家や学校・保育所等の保全施設が発電所周辺に立地しているケースもございます。
3	空冷式というのも日本では初めてだという事ですが、実例がないだけに不安です。	ディーゼルエンジンの空冷ラジエーターは、トラックや離島発電所等でも使われていますので、問題はありません。また、蒸気タービンの空冷コンデンサーもゴミ焼却場の排熱回収発電機で広く使われておりますので、問題ございません。どうぞご安心ください。

■ 石巻市長への申入書に対する回答

Confidential information



No.	質問要旨	回答
4	24時間運転による振動や、排ガスによる臭いなど住民の健康に対する影響の不安、また、煙突の高さは40mと聞いていますが、しらさぎ台の高さとの関係はどうなのでしょう。	発電所運転時の騒音や振動については、敷地境界での環境規制値(騒音は朝夕50dB、昼間55dB、夜間45dB以下。振動は昼60dB、夜55dB以下)を満足するように設備で対応いたします。<u>騒音45dBは静かな図書館のイメージであり、振動55dBは人が揺れを感じないレベルです。</u>また、発電所としらさぎ台とは、直線距離で約1kmも離れているため、影響ありませんのでご安心ください。 また、排ガスについて、住民の皆様の健康に対する影響は、環境アセスの中で、調査・予測・評価をしっかりと行っていきます。具体的には、<u>煙突高さとしらさぎ台の標高差を踏まえて、SOx、NOx、ばいじん等のしらさぎ台での影響予測を詳細に行います。</u>なお、方法書で実施しました事前検討段階の予測結果からは、健康に影響を及ぼさないための環境基準を満足させる煙突高さ等の条件を把握しております。今後、現況調査結果および詳細な予測結果に基づき、より影響が小さくなるように対応いたしますので、どうぞご安心ください。

■ 石巻市長への申入書に対する回答

Confidential information



No.	質問要旨	回答
5	計画によれば、1日燃料700 トンを運ぶトレーラーが約40台往復します。排ガスによる臭いや、交通事故が心配です。	トレーラーによる交通環境負荷(交通量や排ガスによる臭い)についても、環境アセスで予測評価いたします。また、トレーラー輸送は基本的に平日(月～金)のみとし緊急時を除き、土日は運行いたしません。しかも、運行車両は、40台が一度に通行するわけではなく、一日4回に分けて走行するようにいたします。<u>運行時間は、近隣の小学校や保育所とも相談の上、登下校時間帯を除く運行計画とし、適宜、交通誘導員等を配置するなどして、交通安全の確保に取り組めますので、どうぞ安心ください。</u>
6	燃料にも不安があります。日本で苗木をモザンビークに送り、現地で育った木の実を搾って日本に送るという事が、計画(2018～2019)中だということですが、まだ実態のないことが計画になっているという事は、パームヤシ油を燃料にしている事が自然破壊と批判されてることを逃れるためなのではないかと不安です。	燃料として開発中のG-Bio Fuel. Plは、安定供給のための準備として、<u>アフリカでの栽培用地の確保(土地利用権取得済)、事業体制の構築(現地法人、栽培農業法人設立済)、協力体制の構築(アフリカ政府系ファンドや人権団体のサポート確約)を行い、同時に栽培・搾油技術の確立、ロジスティクスの最適化を実施中ですので、どうぞご安心ください。</u>

■ 石巻市長への申入書に対する回答

Confidential information



No.	質問要旨	回答
7	今まであった雑木林が、一部を残して伐採されますが、生態系への影響が心配されます。第1回の「環境影響評価」の説明会では、実施されれば、環境は少なからず悪くなると話されました。その上、今まで、あった自然(鳥や小動物も含めて)による良い環境が失われます。少なからずとはとても言えない環境悪化ではないでしょうか。	生態系につきましても、環境アセスにて現況調査を行い、現況からの影響を予測評価いたします。 現状の計画では、発電所周囲には、発電所建設により改変される面積と同等の面積の森林を残す計画であり、更に、その周辺には既存の里山環境が残ります。 このような計画を踏まえ、<u>環境アセスを実施し、里地里山の環境に対して問題が出ないように、事前に対策を行います</u>ので、どうぞご安心ください。

— 以上 —

《どなたでもおいで下さい》

※マスク着用で
おいで下さい。

火力発電所の建設中止、撤回を求める、**環境を守る住民の会**（仮称）準備会
環境問題に詳しい水戸部秀利氏（医師）に、話をさせていただきます。

7月5日(日) 午後1時30分～ 終了予定 3時

しらさぎ台コミュニティセンター（2丁目34）

須江地区に10万キロワット超の

巨大な火力発電所は要らない!!

建設されれば住環境の悪化は必至です

東京の「G・バイオ」という会社が、閑静な農村の住宅地・須江・瓦山の山林（東京ドーム約2個分）を買収。

ディーゼルエンジン十基を稼働させて発電し、出力十萬二千kW、23万8千戸分（電力は県外の都市部のために売電）という特大の火力発電所を建設する事が分りました。

24時間休まず、2000ドラム缶にすれば、1日、2,500本（500トン）もの油を燃やす計画。

燃料はインドネシア、マレーシア原産の「アブラヤシ」の果実を精油。大型タンカーで輸送します。これは、地球温暖化防止に逆行するものです。

また、大型トレーラー40台が毎日、生活道路を往復する。子ども達の交通事故が特に心配です。

「G・バイオ」は3年前、須江の欠地区に建設を予定しましたが、欠地区の住民から、「静かに暮らしたい」と反対され、須江・瓦山に変更しました。

「しらさぎ台町内会」では、令和元年の総会に於いて、全会一致で建設反対の決議をあげ、亀山市長に申し入れをしています。

県・環境評価技術審議会より、

石巻市でも

次々、厳しい指摘！

たとえば

◆建設場所が、保育所、小中学校などの施設が有り、住宅が増えている地域。生活環境への影響が大きい。

◆窒素酸化物の排出濃度が著しく高く、排出量も多い。
須江がなぜ設置場所なのか納得が得られる説明が無い。

◆交通事故のリスクを含む交通環境の負荷が増大する。

◆騒音・振動・低周波音の発生、排ガスや燃料自体から発生する臭い及び排水による、農業用水路への影響が懸念されます。

予定では、（2021年）
着工：令和3年4月
皆で力を合わせ、
運動をあげ、
建設ストップを！



呼びかけ人代表：須江・沢田 佐々木寿朗・阿部光夫 須江・しらさぎ台 稲葉憲一郎・阿部加代子

連絡先 080-3143-0060 Fax0225-73-2991（阿部）

須江地区に 10 万キロワット超の 巨大な火力発電所は要らない!

7月5日、しらさぎ台コミュニティセンターに於いて、火力発電所の建設中止、撤回を求める、環境を守る住民の会・準備会が開催されました。地元はじめ市内市外から49名の方が参加。

初めに、世話人から、事業内容・経過・問題点について報告。

その後、環境問題に詳しい水戸部秀利氏（医師）に、①事業計画の異常さ②計画の背景③問題点④今後の取り組みについてパワーポイントを使って分かりやすく話して頂きました。特に宮城県の大気汚染常時監視情報(6/15)によると、石巻の20時のPM2.5(呼吸によって肺の奥深いところにまで侵入、有害成分は血液の中へ。サイレントキラー「静かな殺し屋」と言われている)の濃度は県内で一番高かったという事にびっくりしました。ますます大気の水質が悪化し、須江のみならず石巻全体及び周辺地域への環境が悪化します。(詳細は裏面)

今後の取り組みについては、「世論・特に現地住民が声を上げる事が大事。出来てしまってからでは遅い、声を上げれば、撤退・撤回の事例もある」と励まして頂きました。

G-Bio 石巻須江発電事業について

講師:水戸部秀利氏



液体バイオ発電計画に反対

石巻・須江住民組織が発足

「G-Bio 石巻須江発電事業」の計画が、地元住民の反対を招き、住民組織が発足した。住民組織は、G-Bio 石巻須江発電事業の計画に反対し、環境を守る住民の会・準備会を組織し、環境を守る住民の会・準備会を発足させた。住民組織は、G-Bio 石巻須江発電事業の計画に反対し、環境を守る住民の会・準備会を組織し、環境を守る住民の会・準備会を発足させた。

7月7日

しんぶん赤旗

住民らが決起集会

「G-Bio 石巻須江発電事業」の計画に反対する住民らが、7月7日、石巻市須江地区で決起集会を開いた。集会には、地元住民のほか、市内外から多くの参加者が集まり、G-Bio 石巻須江発電事業の計画に反対する旨の決議を採択した。また、G-Bio 石巻須江発電事業の計画に反対する旨の決議を採択した。また、G-Bio 石巻須江発電事業の計画に反対する旨の決議を採択した。

住宅地に火発いらぬ

「G-Bio 石巻須江発電事業」の計画に反対する住民らが、7月7日、石巻市須江地区で決起集会を開いた。集会には、地元住民のほか、市内外から多くの参加者が集まり、G-Bio 石巻須江発電事業の計画に反対する旨の決議を採択した。また、G-Bio 石巻須江発電事業の計画に反対する旨の決議を採択した。また、G-Bio 石巻須江発電事業の計画に反対する旨の決議を採択した。

7月7日石巻かほく↑

呼びかけ人代表: 須江・沢田 佐々木寿朗・阿部光夫 須江・しらさぎ台 稲葉憲一郎・阿部加代子

連絡先 080-3143-0060

Fax0225-73-2991 (阿部)

G-Bio石巻須江発電事業について

2020/7/5 しらさぎ台コミュニティセンター

若林クリニック所長 水戸部秀利

(仙台 ps 差し止め訴訟団 副団長)

- 1) 事業計画の異常さ
石巻市北方の山野に、10万kwのバイオマス(植物油)発電所
植物油は、海外(アフリカ・モザンビーク)から、足りなかったら、
パーム油
近隣に住宅、小中学校、保育所あり、1日大型タンクローリー40台
往復・・・NO2やPM25
10基のディーゼル発電機で大量のCO2排出とばい煙放出
- 2) このような計画の背景
パリ協定(CO2削減)、「バイオマス=カーボンニュートラル」の誤
った発信
FIT (固定価格買取制度)の誤った適応、電力自由化
国策・ODA政策(モザンビーク・サバンナ事業)
- 3) 問題点
石巻地区(圏内)の大気質悪化(PM2.5 超 NO2)と
周辺地域の住環境悪化
途上国の農業や環境破壊、地球環境への悪影響
- 4) 今後の取組
世論、特に現地住民が声を上げる事が大事、バイオマス利用への正
しい理解
例：仙台PSの差し止め訴訟と四国電力の撤退
例：舞鶴港のパーム油発電計画の撤退

○学習会後、佐々木呼びかけ人より、会結成
の提案がされ、拍手で承認されました。
○今後の活動として、署名活動・のぼりや看
板の設置など提案。
○募金をお願いしましたところ、
1万9400円もお寄せいただきました。
有難うございました。有効に使わせていた
だきます。

署名などの準備
が出来ましたら、
ご協力お願いいた
します。

福知山火力発電所



煙突から出る煙です↑



舞鶴にパーム油
火力発電所なんか
いらん!!

ネット環境(PC・スマホ)のある方は、ぜひ
「福知山火力発電」で検索してみてください。恐
ろしい光景が・・・出来てしまってからではもう
遅いのです。須江発電は、来年4月着工です…あ
と1年もありません。

声を上げる事が、撤退・撤回への道です。
活動を広げましょう。

舞鶴では、福知山の経験から学んで、早々に「い
らん」の声を上げ、撤回させました。

今年の6月末の事です。

